毎日新聞 (m) 〔第3種郵便物認可〕

地域医療に尽くす 大阪府耳鼻咽喉科医会 川嵜良明会長

大阪府耳鼻咽喉科医会には開業医ら約700人が所属し、地域医療の向上を目的にさまざまな活動を行っています。学術的な団体である日本耳鼻咽喉科学会大阪府地方部会とともに車の両輪のような役割を果たしています。近年は難聴などが認知症やうつ病にも影響していることがわかってきています。耳の知識をしっかりつけて、健康な生活に役立ててほしいと思います。

第23回

耳の日セミナー

耳の健康を考える

「第23回耳の日セミナー　耳の健康を考える」が耳の日の3日、大阪市北区の毎日新聞オーバルホールであった。難聴やめまいなどについて3人の専門医が基調講演。事前に寄せられた質問を基にしたパネルディスカッションも行われ、約400人の参加者が熱心に聴き入っていた。【大道寺峰子】

耳のしくみと検査

大阪府耳鼻咽喉科医会理事
澤田達さん

耳は、いわゆる耳の穴を指す外耳道などの外耳、鼓膜や耳小骨などの中耳、蝸牛や三半規管などの内耳で構成されます。そして、きこえと、体のバランスを感じ取るという大きく二つの働きがあります。

また、きこえ方にも、外耳道から入った空気の振動が、鼓膜などの中耳を経て内耳に伝わる「気導」と、直接内耳を震わせ音を感じる「骨導」の二つがあります。きこえの検査としては、特定の周波数を一つずつ調べていく純音聴力検査と、言葉を聞き分ける力を調べる語音聴力検査の2種類があります。

そして、難聴は大きく3種類に分けられます。伝音難聴は外耳や中耳の障害です。気導に異常があるものの、治りやすい。一方、内耳や脳など音を感じる部分の障害が感音難聴です。特に話し言葉が聞き取りにくく、比較的治療が難しいのが特徴です。老人性難聴も含まれます。また伝音難聴と感音難聴が組み合わさった混合性難聴もあります。

難聴で身体障害の認定を受けられる場合があります。基本的には両耳が高度難聴である人が対象になりますが、片耳など例外で認められるケースもあります。法に基づく認定医の診断を受ける必要があります。

先天的に聞こえにくさがある場合は、早期の治療が大切で、そのための検査機器も開発されています。大阪市では今年1月から「新生児聴覚スクリーニング検査」に公費補助が出るようになりました。

こうした行政への働きかけは重要で、大阪では救急医療体制も整えられています。全国的にも例のない試みで、中央急病診療所(大阪市西区)に大阪府耳鼻咽喉科医会の会員医師が交代で出務していますので、適宜ご活用ください。

治療容易でない感音難聴

難聴とめまい

大阪大学大学院医学系研究科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講師
今井貴夫さん

耳の病気でめまいを感じることがあるのは、体の平衡感覚をつかさどる器官が耳の奥の内耳に存在するからです。その構成器官が、耳石器と、輪のような構造の三半規管です。耳石器は直線加速度を感じるための器官で、文字通り石のようなものが詰まっており、横方向の直線加速度を感じる卵形嚢と、縦方向の直線加速度、つまり重力を感じる球形嚢に分かれています。三半規管は内リンパ液で満たされており、その液の動きで回転を感じます。

めまいを訴える疾患で最も頻度が高いのは、良性発作性頭位めまい症です。耳石器の石が三半規管に迷入することで発症します。体を動かし終わった時に石が三半規管を刺激するので、体が止まっているのにもかかわらず、まだ動いているという誤った情報が脳に送られ、めまいが生じます。寝起きや寝返りの際にめまいを感じ、1分ほどじっとしていれば治まるのが特徴です。治療としては、頭を動かし三半規管から石を物理的に追い出します。治療しなくても2週間から1カ月で自然治癒することが多いです。

メニエール病もめまいを起こす病気として有名ですが、頻度はそれほど高くありません。難聴や耳鳴りを伴うことがあり、症状が良くなったり悪くなったり変動するのが特徴です。内リンパ液が増えすぎ、内耳が水ぶくれのようになるのが原因です。基本的には薬で水ぶくれを小さくします。ひどい時には手術をすることもあります。また、新しい治療法に耳の中に圧を加え、水ぶくれを軽減させる「中耳加圧療法」があります。

メニエール病の場合、ストレスの少ない生活が重要です。規則正しい生活習慣や、適度な運動、仕事以外の楽しみを持つよう努めてください。

頻度は低いメニエール病

難聴の原因と治療—小児と高齢者の難聴

大阪医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授
河田了さん

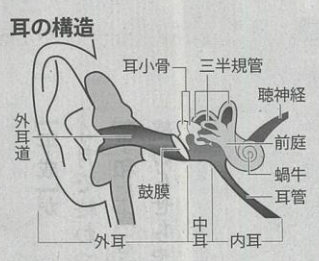
中耳炎による伝音難聴も

難聴には伝音難聴と感音難聴があります。小児の難聴の場合、中耳炎が原因で伝音難聴になることが多いので、中耳を中心に説明します。

鼓膜の内側にはツチ骨、キヌタ骨、アブミ骨という小さな骨があります。この三つを耳小骨といい、音を増幅させる役割があります。また鼻の奥へと通じるのが耳管で、音を効率よく伝えるために、鼓膜の内側と外側の気圧を調整します。高い山に登ると耳に違和感を生じるけれど、あくびなどで治るのは、この耳管の働きです。

中耳炎の中でも子どもがなりやすいのが急性中耳炎です。「耳から水が入ったのが原因ですか」とよく質問されますが、ほとんどの場合、鼻を経由しての細菌感染が原因です。抗菌剤による治療が有効になります。

また滲出性中耳炎は小児と高齢者の両方でみられます。普段、鼓膜は透明感がありますが、滲出性中耳炎の場合、鼓膜の内側に体液がたまった状態になります。耳管の換気が悪くなることで起こり、投薬や鼻の処置などで改善を図ります。急性と滲出性を繰り返し、慢性化した場合など、「鼓膜換気チューブ」を入れることもあります。さらにひどくなると、骨が溶け出す真珠腫性中耳炎になることがあります。そうなると手術が必要です。



老人性難聴は加齢が原因で、高い音を中心に徐々に聞こえにくくなります。一般的に両方の耳に生じるのが特徴です。65歳以上で25～40％、85歳以上になると80％にみられます。また30～40％の方が耳鳴りを伴います。耳鳴りだけでも治してほしいと言われる人が多いのですが、残念ながら難しいのが実情です。

パネルディスカッション

50歳女性　突発性難聴について教えてください。

河田　突発性難聴は内耳などの障害で起こる感音難聴の一つです。片方の耳が突然聞こえにくくなるなどが症状です。原因ははっきりしませんがストレスなどが影響すると考えられます。ただ、感音難聴の中では治る可能性が高く、発症から治療までの期間が短いほど治りが良いというデータもあります。早期受診をお勧めします。

79歳男性　耳鳴りやめまいは治りますか。

今井　耳鳴りやめまいの原因はさまざまです。突発性難聴に伴う耳鳴りや、良性発作性頭位めまい症は比較的治りやすいですが、脳の疾患が原因の場合は治りにくいです。いずれにせよ、まず病院での診断が大事です。

85歳男性　ひどい耳鳴りで眠れません。

澤田　耳鳴りをゼロにするのは非常に難しいです。ただ、外から入る音が少ないために、耳鳴りが気になることは多いので、補聴器を取り入れるなどは、一つの工夫です。寝る際にラジオなどを軽く流したり、あるいは睡眠導入剤などの薬物療法で対処したり、試されてはいかがでしょう。

81歳男性　高齢者の難聴は治りますか。

河田　高齢者の難聴が全て老人性難聴というわけではありません。高齢の難聴者の10人中8人は老人性ですが、2人は他の中耳の疾患が原因と考えられます。老人性難聴ならば治すのは難しいのですが、それ以外だと十分治る可能性はあります。少しでも生活の質を上げるためにもまず受診してください。

82歳女性　補聴器はどう選べば?

今井　最近はアナログ補聴器ではなく、ほとんどデジタル補聴器で、やや高額です。耳穴型、耳掛け型、ポケット型などさまざまなものがあります。骨導補聴器は、外耳、中耳の障害で起こる伝音難聴に特に有効です。メガネ型やカチューシャ型など頭の骨に密着させるので、圧迫感を感じることがあります。

個々の聞こえの状況によりますので、まず病院でご相談ください。

40歳女性　耳の中がかゆくなります。インターネットで、体を洗う際、強くこするのも耳のかゆみの原因と見ました。

澤田　本来、耳あかは外側のみにあるもので、耳の奥をこする必要はありません。皮膚には自浄作用がありますので、できるだけほっておいても大丈夫です。ネットには間違った情報も多いので医師に相談してください。

河田　最後に、舌がんが話題ですが、鎖骨から上で、脳外科と眼科を除いた部分は、頭頸部外科の範囲です。大学病院などでは耳鼻咽喉科を頭頸部外科と表記するケースが増えているのはこのためです。舌がんが気になる方は、耳鼻咽喉科を受診してください。

ジャーナリスト
池田知隆さん

突発性難聴は早期治療がカギ／耳鳴り・めまいは原因さまざま

主催　一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会、一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会大阪府地方部会、毎日新聞社
後援　大阪府、大阪市、大阪府医師会　　協賛　トーシン補聴器センター